

第2回 軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議まとめ

日時	令和7年（2025）5月22日（木） 午後3時から午後5時10分まで		
会場	長野県軽井沢町立軽井沢中学校 多目的室		
出席 （敬称略） ◎座長 ○副座長）	◎荒井 英治郎 ○三和 秀平 木村 泰子 西郷 孝彦 飯澤 幸世 今村 久美 西野 博之 岡田 敏之 藤木 拓道 一色 保典 向井 健太郎 本城 慎之介 上原 浩子 山崎 伸一 久保 貴史 諸星 ひとみ 岩崎 ひとみ		
欠席（敬称略）	本田 秀夫 福本 理恵	傍聴者	20人
事務局	宮本 隆 教育長 内堀 繁利 教育推進アドバイザー 岩井 和成 課長 金井 章宏 課長補佐 金井 拓也 係長 学校教育係 職員 小林 真理 軽井沢高校・教育魅力化推進係 職員 根津 彩香 桐野 耕介		
会議事項	（1）第1回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議のまとめ（案） （2）今後のスケジュールについて （3）アンケートについて （4）夜間中学ニーズ調査について （5）その他		
当日資料	次第、委員名簿、第1回設置準備会議まとめ（案）、設置準備会議等スケジュール（案）、 在校生へのアンケート（案）、「アンケート（案）」についての意見と事務局対応、 「夜間中学」設置に向けたニーズ調査について（案）、 「夜間中学アンケート（案）」についての意見と事務局対応、 県教育委員会実施 夜間中学アンケート（参考資料）		

主な内容（意見、質問等）

会議次第について

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 座長挨拶
4. 新委員自己紹介
5. 議題
 - （1）第1回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議のまとめ（案）
 - 【意見・質問等】なし
 - （2）今後のスケジュールについて
 - 【意見】・可能な限り、見学等の予定もスケジュールへ記載いただきたい。
 - 【質問】・9月22日のフォーラム&ワークショップは何時から開催の予定か。
 - ・スケジュールに記載のない施設見学等の予定はあるか。
 - （3）アンケートについて
 - 【意見】・登校できている子と不登校の子で意見に違いがあることが考えられるため、考慮が必要ではないか。
 - ・通常の学校とオープンドアスクールの違いは何か、議論が必要であるように感じる。
 - ・学校へ行けない子が安心して意見を出せる環境を整備していただきたい。
 - ・全国で実施されている不登校等に関するアンケート結果も資料として参考になるのではないか。
 - ・Google フォームではルビ振り等ができないため、紙ベースでの実施が良いのではないか。
 - ・問3と問4の違いが分かりにくいので、1つの設問にしてはどうか。
 - ・ものこと人場所時間ルール等を何でも書ける設問にしてはどうか。
 - ・例示をすることで意見が偏ってしまう可能性があるため、例示をやめたほうがいいのか。
 - ・分析は軽くしていただきたい。
 - ・出てきた意見をどのように活かしていくのか明確にしていきたい。
 - ・通常学級と教育支援センター等で回答フォームのURLを分けてはどうか。
 - ・クラスの中でグループでの話し合い等をした後に書くほうがいいのか。
 - ・事前に1回実施してみるのがあるのか。
 - ・問3は、プルダウンやチェックボックスにし、自由記述欄も設けてはどうか。
 - ・今生きているうえでの悩み事等を自由に書ける欄があってもいいのではないか。
 - 【質問】・欠席者や不登校等、アンケート実施日にいない児童生徒はどうするか。
 - ・内容についての合意形成ができた場合の、実施予定時期はいつごろか。

(4) 夜間中学ニーズ調査について

【意見】・学ぶことに対するニーズと入学するニーズは異なるため、どのような結果が出るか。

また、潜在的、顕在的という観点のニーズもあり、そもそもニーズを自覚していない人もいるため、とても難しい調査である。

- ・生成 AI 等も活用し、アンケートやチラシ等多言語対応していただきたい。
- ・調査対象に社会福祉協議会やハローワーク、児童相談所を追加してはどうか。
- ・文部科学省が作成しているチラシをもらうなど、夜間中学の周知も工夫のうえ実施いただきたい。
- ・夜間中学についてのチラシをアンケートと一緒に設置してはどうか。
- ・設問項目で、「あまり通っていない」ではなく、「十分学ぶことができなかった」など通っていたが、十分な学習ができなかった人も視野に入れていただきたい。
- ・ニーズは確実にある。学校ができれば周知する中でだんだんニーズが広まっていくと考える。
- ・近隣市町村からの募集も検討いただきたい。
- ・夜間中学対象者へのアンケートという意味だけではなく、どのような人に夜間中学のニーズがあるのかという観点の調査にしてはどうか。
- ・夜間中学のイメージは大切であるため、無料であることや開校時間、行きたいと思える情報も掲載いただきたい。
- ・自身で情報に触れることのできない人もいるため、支援者も回答の対象としていただきたい。
- ・異年齢と学ぶ機会として夜間中学の利用を検討できるような質問項目がアンケートにあると良い。
- ・3か国語だけでなく、もっと多くの言語に対応いただきたい。
- ・夜間中学の説明の際に、夜間中学についてのDVDを活用してはどうか。英語版もある。
- ・周知方法について、アンケートフォームに夜間中学を紹介する動画を入れてはどうか。
- ・オンラインの夜間中学についての希望も知れると良い。
- ・開校した際に言語の壁があると思うため、事前に検討が必要である。
- ・夜間中学と通信制高校の違いを明確にする必要があるのではないか。
- ・夜間中学の、教育支援センターとしての活用についても検討いただきたい。
- ・ニーズの有無ではなく、ニーズをつくっていく視点も大切である。

【質問】・ニーズ調査でニーズがないとなった場合の対応はどうするのか。

(5) その他

○事務局から、スクールコンセプトや設置場所について説明。

【意見・質問等】なし

6. その他

○事務局からの事務説明。

- ・次回は7月14日、軽井沢発地市庭での開催となる。